

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,692	△2.2	259	△5.6	276	2.3	280	—
23年3月期第3四半期	22,170	△4.9	274	△43.3	270	△36.3	5	△98.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 294百万円 (749.2%) 23年3月期第3四半期 34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	27.36	—
23年3月期第3四半期	0.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,062	2,227	17.1
23年3月期	11,545	1,932	16.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,227百万円 23年3月期 1,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	0.2	100	△48.6	130	△30.3	120	—	11.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	10,510,000 株	23年3月期	10,510,000 株
24年3月期3Q	240,033 株	23年3月期	240,033 株
24年3月期3Q	10,269,967 株	23年3月期3Q	10,269,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、原子力発電所の事故に伴う放射性物質問題の長期化の様相の中、円高や欧州金融危機の拡大など、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の節約志向による購買意欲の冷え込みによる価格競争の激化の中、原材料及び包装資材の高騰により厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは単品量販の推進及び新規開拓等により売上高の回復に努めてまいりました。生産面では小集団活動による生産性の向上を図るとともにロスの削減等製造コストの削減に取り組んでまいりました。食肉部門におきましては、不採算部門の立て直しを図り食肉部門の採算改善に取り組んでまいりました。また、物流部門におきましては、物流の効率化を図るため、平成23年9月30日付で当社が保有する連結子会社株式会社泉川運輸の全株式を関東運輸株式会社に譲渡いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、食肉加工品部門の売上回復は見られたものの、食肉部門においては、放射性セシウム汚染による栃木県産牛の出荷停止や風評被害等の影響を受け、国産牛肉の売上が大幅に落ち込んだことから、売上高は216億92百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

損益面につきましては、食肉の売上減少要因や原材料及び包装資材等の値上がりによるコスト増加要因が重なったことにより、営業利益は2億59百万円（前年同期比5.6%減）となりましたが、経常利益は棚卸資産等の資産圧縮に努めた結果支払利息が減少したため、2億76百万円（前年同期比2.3%増）となりました。四半期純損益については、第2四半期に関係会社株式売却益の計上があったことにより、四半期純利益2億80百万円（前年同期5百万円の四半期純利益）の計上となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

**食肉加工品部門**

食肉加工品部門につきましては、単品量販の推進によりソーセージ類の新商品が好調に推移しましたが、ハム類の売上が低調に推移したことからこの部門の売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は86億37百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

**惣菜その他加工品部門**

惣菜その他加工品部門につきましては、練り物商品の売上が減少しましたが、一次加工品の新商品が好調に推移したため、売上は増加いたしました。この結果、この部門の売上高は40億78百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

**食肉部門**

食肉部門につきましては、国産及び輸入のブランド商品の拡販に努めましたが、放射性セシウム汚染による栃木県産牛の出荷停止及び栃木県産牛・豚肉の風評被害等の影響により売上が大幅に減少したことからこの部門の売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は88億63百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

**その他部門**

その他部門につきましては、物流部門及び外食部門の売上高は1億13百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億16百万円増加し、130億62百万円となりました。これは主に、第3四半期連結会計期間の季節的要因により受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ12億21百万円増加し、108億35百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加及び第3四半期連結会計期間の季節的要因により買掛金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億94百万円増加し、22億27百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年11月4日に修正いたしました業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間におきまして、重要な子会社の異動はありませんが、従来子会社でありました株式会社泉川運輸を平成23年9月30日をもって同社の全株式を売却し、連結子会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,508,653	2,139,967
受取手形及び売掛金	2,709,760	3,930,785
商品及び製品	1,523,409	1,265,886
仕掛品	150,796	128,772
原材料及び貯蔵品	219,234	253,720
繰延税金資産	79,767	72,692
その他	62,083	54,391
貸倒引当金	△4,399	△6,334
流動資産合計	6,249,305	7,839,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,645,300	1,541,026
機械装置及び運搬具（純額）	228,586	215,063
土地	1,897,161	1,893,948
リース資産（純額）	382,950	421,607
その他（純額）	67,884	73,347
有形固定資産合計	4,221,884	4,144,992
無形固定資産	20,660	15,436
投資その他の資産		
投資有価証券	797,496	814,315
繰延税金資産	7,663	6,828
その他	275,727	259,207
貸倒引当金	△26,839	△17,985
投資その他の資産合計	1,054,047	1,062,366
固定資産合計	5,296,592	5,222,795
資産合計	11,545,898	13,062,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,637,666	3,156,887
短期借入金	3,487,878	4,055,886
リース債務	76,721	92,632
未払法人税等	8,275	17,770
賞与引当金	112,208	25,642
災害損失引当金	13,068	—
その他	667,693	1,066,915
流動負債合計	7,003,513	8,415,734
固定負債		
長期借入金	1,472,855	1,274,484
リース債務	330,786	358,082
退職給付引当金	645,915	623,739
役員退職慰労引当金	116,838	127,212
環境対策引当金	10,555	10,555
負ののれん	9,735	2,433
その他	22,995	22,823
固定負債合計	2,609,681	2,419,331
負債合計	9,613,194	10,835,066
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	685,424
利益剰余金	300,569	581,518
自己株式	△3,877	△3,877
株主資本合計	2,062,617	2,343,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△130,112	△115,954
その他の包括利益累計額合計	△130,112	△115,954
少数株主持分	199	—
純資産合計	1,932,703	2,227,611
負債純資産合計	11,545,898	13,062,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	22,170,553	21,692,778
売上原価	18,015,553	17,671,839
売上総利益	4,154,999	4,020,938
販売費及び一般管理費	3,880,246	3,761,448
営業利益	274,753	259,490
営業外収益		
受取利息	175	157
受取配当金	18,067	17,152
補助金収入	12,816	12,769
受取賃貸料	7,237	14,734
その他	26,360	27,353
営業外収益合計	64,656	72,168
営業外費用		
支払利息	67,657	54,696
その他	978	30
営業外費用合計	68,636	54,726
経常利益	270,773	276,931
特別利益		
固定資産売却益	4,298	—
投資有価証券売却益	14,131	—
貸倒引当金戻入額	40	—
損害賠償金収入	—	4,665
関係会社株式売却益	—	33,336
特別利益合計	18,470	38,002
特別損失		
固定資産売却損	60,727	297
固定資産除却損	11,237	5,226
減損損失	4,752	4,796
投資有価証券評価損	90,897	1,249
その他	2,699	—
特別損失合計	170,315	11,569
税金等調整前四半期純利益	118,929	303,365
法人税、住民税及び事業税	16,444	16,576
法人税等調整額	96,925	6,039
法人税等合計	113,370	22,615
少数株主損益調整前四半期純利益	5,558	280,749
少数株主損失(△)	△4	△199
四半期純利益	5,563	280,948



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,558	280,749
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	29,170	14,157
その他の包括利益合計	29,170	14,157
四半期包括利益	34,728	294,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,733	295,106
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△199

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。